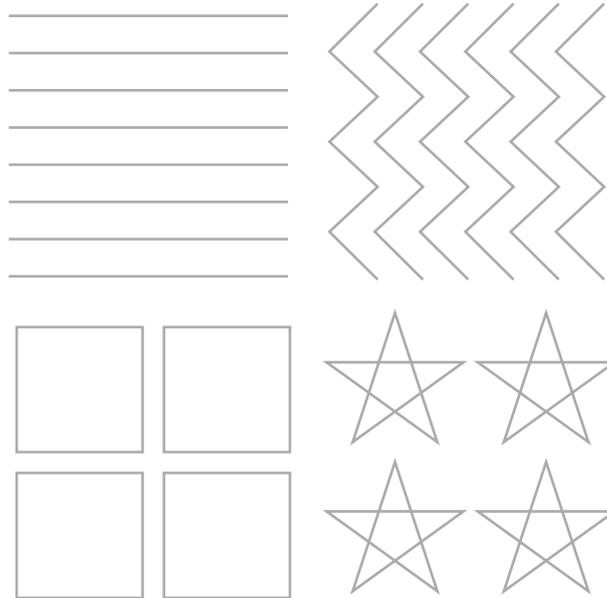


02

キレイな線を描く



線とかんたんな図形を描こう！

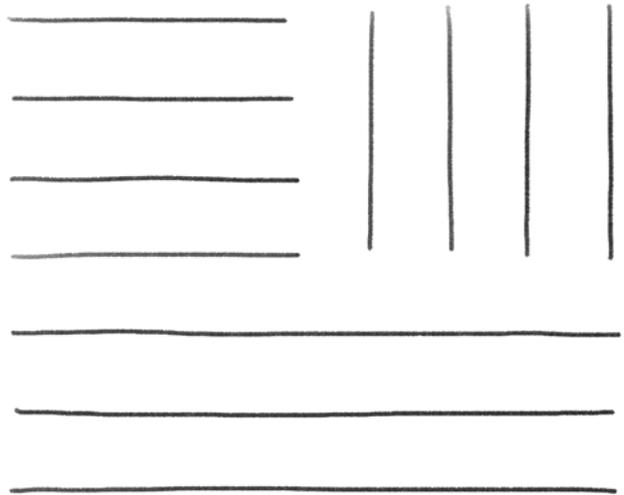
定規やコンパスなどの道具を使わずに、まっすぐの線やまんまるの正円を描くことができますでしょうか？
 直線や正円は絵を描くうえで基本(きほん)の図形です。
 「いいかんじの線」や「いいかんじの丸」を描けると
 いうことは、思いどおりの絵が描けるということです。
 描き続けていれば、しぜんとバランス感覚(かんかく)が身につきますので、なるべく毎日練習しましょう。

絵を描く前にウォーミングアップ！



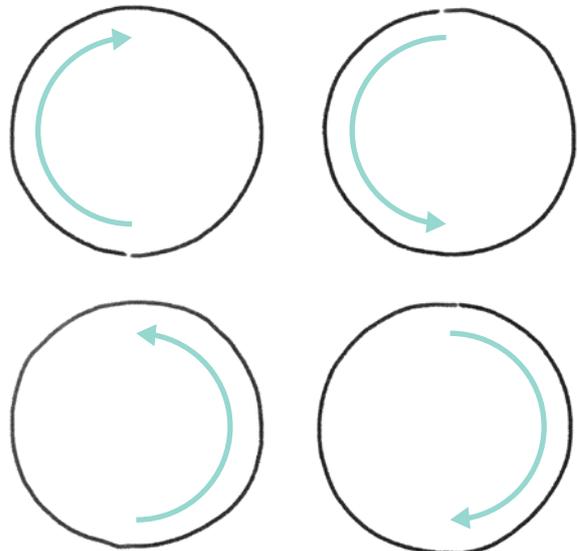
タテとヨコの直線を描く

タテ・ヨコそれぞれまっすぐの線を描いてみましょう。
 ちからを入れすぎず、リラックスしてすーっとひといきに描ききってください。
 なれてきたら、長い線も描いてみましょう。



まんまるの正円を描く

頭のなかでボールをイメージしてください。
 描きやすいと感じる描き方が見つかるまで、上から、下から、右まわり、左回りなどいろいろな方向から描いてみましょう。
 なれてきたら、大きいまるも描いてみましょう。



線とかんたんな図形を描こう！

直線をつかって三角や四角を描く

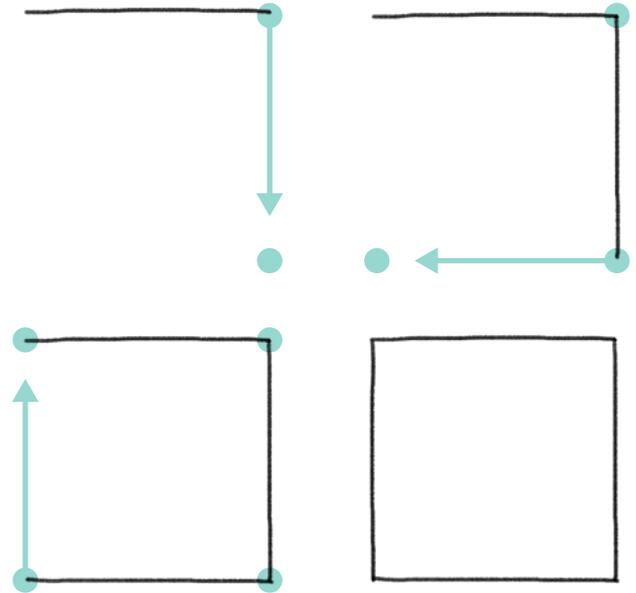
直線になれてきたら、三角や四角などのかんたんな図形を描いてみましょう。

図形がゆがむときは、ペンの進む先を「点」でイメージしてみましょう。

ペンの進む先をイメージできるとかたちが整い(ととのい)やすくなります。



「良い線が描けた!」と思ったら、そのときの感覚(かんかく)を忘れずに! 遊ぶような気持ちでやってみてね。



思いどおりの線が描けるようになって...

かんたんな線や図形を描けるスキルは、イラストにも活(い)きてきます。たとえば、「アタリをとる」とき。「アタリをとる」とは、絵を描くとき、まずはじめにどの部分がどのあたり(アタリ)にくるのか

をおおまかに描くことを言います。プロのイラストレーターでも、アタリをとるところから描きはじめる人が多いです。アタリをうまくとれるかどうかで、イラストの完成度(かんせいど)もちがってきます。

